



## 雑誌『ピエロタ』総目次

梶尾, 文武

---

**(Citation)**

神戸大学文学部紀要, 47:43-64

**(Issue Date)**

2020

**(Resource Type)**

departmental bulletin paper

**(Version)**

Version of Record

**(JaLCD0I)**

<https://doi.org/10.24546/81012054>

**(URL)**

<https://hdl.handle.net/20.500.14094/81012054>



# 雑誌『ピエロタ』総目次

## 梶尾文武

【刊行期間・全冊数】1969・11～  
1975・4 (23冊)

【誌名】『びえろた』(1～6号)→『ピ  
エロタ』(7～23号)

【発行所】母岩社(1～20号)→吟遊  
社(21～23号)

【刊行頻度】月刊(1～11号)→季刊  
(12～15号)→隔月刊(16～20号)  
→季刊(21～23号)

【判型】A5判

●通巻第1号〔創刊号〕(第1巻第1号、

1969年11月、定価300円)

編集人兼発行人——緑川登

発行所——母岩社

表紙写真——奈良原一高

表紙デザイン——鳥越竜雄・浦島ふみ子

イラスト——藤松博

- ・辻まこと「絵はがき・見知らぬオトカムの旅Ⅰ」〔画・文〕…7
- ・山本太郎「張子の虎」〔文・スケッチ〕…8
- ・「西武百貨店ゴーギャン展による」〔「異

国のイブ」他3作、画〕…10

- ・加藤千恵(フラワーデザイン)、江森国友・吉行理恵・会田千衣子(詩)「花と詩のインテリア」〔写真〕…12

---

□EROS IN FINE ARTS

- ・日向あき子「芸術とエロスと」〔評論〕…16
- ・宇佐美英治「裸婦」〔評論〕…24

---

・山口三夫「わが詩人たちの肖像1 ガブリエーラ・ミストラル—母として世界をうたう」〔評論〕…32

- ・財部鳥子「立原道造の詩—失意の少女と詩人の魂との出会い」〔評論〕…41
- ・草野心平「ハワイ通信Ⅰ」〔エッセイ〕…50

---

・茨木のり子「握手」〔詩〕…52

・三好豊一郎「茨木のり子さんの詩」〔鑑賞〕…54

・石垣りん「出発」〔詩〕…56

・武田文章「「出発」について」〔鑑賞〕…58

・鳥見迅彦「月下浴泉」〔詩〕…60

雑誌『ピエロタ』総目次

- ・新納みつる「鳥見迅彦「月下浴泉」について」〔鑑賞〕…62
- ・黒田三郎「ひとりの個人」〔詩〕…64
- ・川口澄子「「ひとりの個人」について」〔鑑賞〕…66
- ・吉増剛造「視線」〔詩〕…68
- ・江森国友「「視線」について」〔鑑賞〕…70

□私の顔

- ・金子光晴「私の顔」〔エッセイ／写真＝小林美沙子〕…72
- ・伊東きよ子「私の顔」〔エッセイ／写真＝飯塚文正〕…73

- ・吉原幸子「「詞」と「詩」」〔エッセイ〕…74
- ・嶋岡辰「日本の抒情詩〈1〉夜明けの歌声」〔評論〕…76
- ・ポール・エリュアール「週」〔詩／訳・解説＝山崎栄治〕…80
- ・吉行理恵「空」〔エッセイ〕…84

□私の町

- ・岡崎清一郎「足利」〔文・スケッチ〕…86
- ・日高てる「大和高田」〔文・スケッチ〕…87
- ・福島晶子「ヌード」〔写真〕…88
- ・福島晶子・田村隆一「人生のシャッターを切れ」〔対談、写真＝福島晶子〕…89
- ・前川佳子「楽しく絵を描きましょう〈1〉

デッサン入門」〔文・画〕…102

- ・遠藤太郎「ゴーギャンの芸術—近代と原始の出会い」〔評論〕…104
- ・登川直樹「篠田正浩の審美眼—映画「心中天網島」の古風にして新鮮な様式美」〔評論〕…106

・編集後記…110

●通巻第2号（第1巻第2号、1969年12月、定価300円）

編集人——緑川登

発行人——梶原義男

発行所——母岩社

表紙写真——奈良原一高

表紙デザイン——鳥越竜雄・浦島ふみ子

イラスト——藤松博

□特集＝絵と絵画のあいだ

- ・マックス・エルンスト「聖域」（他2作）〔画〕…7
- ・オディロン・ルドン「ヴィーナスの誕生」（他4作）〔画／解説（無記名）〕…10
- ・粟津則雄「詩的言語と絵画的言語の崩壊過程—エルンストとゴッホの場合」〔評論／画＝エルンスト他〕…17
- ・ヨシダ・ヨシエ「ことばとイメージの空間」〔評論、画＝中村宏・瑛九他〕…24
- ・江森国友「現代美術と〈言語表現〉」〔評論、画＝アンリ・ミショー他〕…32

・山口三夫「わが詩人たちの肖像2 マルセル・マルチネー—孤独を生きた革命詩

雑誌『ピエロタ』総目次

- 人」〔評論〕…38
- ・滝口雅子「愛の詩人・室生犀星一詩による随想」〔エッセイ〕…48
- ・石原吉郎「じゃがいものそうだん」〔詩・画〕…58
- 
- ・白石かずこ「好かないヤツ」〔詩〕…60
- ・鍵谷幸信「白石かずこの人と作品」〔鑑賞〕…62
- ・上杉浩子「佐渡の記憶」〔詩〕…64
- ・金子光晴「上杉浩子の人と作品」〔鑑賞〕…66
- ・金井直「道」〔詩〕…68
- ・小松郁子「金井直の人と作品—「道」について」〔鑑賞〕…70
- ・三木卓「夕方 わたしが」…72
- ・吉野弘「三木卓の人と作品」〔鑑賞〕…74

□私の顔

- ・知念栄喜「私の顔」〔エッセイ／写真＝小林美沙子〕…76
- ・奥村チヨ「私の顔」〔エッセイ／写真＝佐伯正治〕…77

- 
- ・タマラ・ジルムンスカヤ「限界」「病気のあとで」(内村剛介訳・解説)〔詩〕…78
- ・エフゲニー・ヴィノクーロフ「数式ひとつ」(内村剛介訳・解説)〔詩〕…80

□私の町

- ・東原徹「諏訪」〔文・スケッチ〕…82

- ・徳永民平「今治」〔文・スケッチ〕…83

- 
- ・岡本雅美「'69バリケードフォークロア—東大闘争のある写像」〔評論〕…84
- ・嶋岡晨「日本の抒情詩〈2〉最初の愛の歌」〔評論〕…90
- ・ハロルド・ライト「アメリカ現代詩の展望」(原梢訳)〔評論〕…94
- ・前川佳子「楽しく絵を描きましょう〈2〉デッサン入門—風景デッサン」〔文・画〕…100

□おもしろい本

- ・無記名「矢内原伊作『ジャコメッティとともに』」〔書評〕…106
- ・無記名「山本太郎『霸王紀』」〔書評〕…108

- 
- ・編集後記…110

●通巻第3号(第2巻第1号、1970年2月、定価300円)

編集人—緑川登

発行所—母岩社

表紙コラージュ—前川佳子

- ・まさのり・おおえ「LSD体験によって描かれた映像詩集・BLACK TRIP」〔画・写真・解説(無記名)〕…7
- ・古沢岩美「エロチコ」〔画〕…10

---

□特集＝'70年 状況のなかの詩と芸術

雑誌『ピエロタ』総目次

- ・三木卓「一種無残な口惜しさ—詩に何が問われるべきか」〔評論〕…13
- ・ヨシダ・ヨシエ「芸術家みずからに告発の眼を」〔評論〕…18

- 
- ・長光太「宮沢賢治—「雨ニモマケズ」・修羅のむせび」〔評論〕…28
  - ・西脇順三郎「ロマンティック風景」〔画・解説〕…40
  - ・白石かずこ「詩とジャズの接点—私の詩の体験」〔エッセイ〕…42
  - ・清水俊彦「ジョン・コルトレーンの死を悼んで」〔詩〕…49
  - ・宇佐美英治「詩人の国—詩を愛する人たちに〈1〉」〔評論〕…50
  - ・前川佳子「楽しく絵を描きましょう〈3〉デッサン入門—人物デッサン」…54
  - ・伊藤信吉「旅の手帖〈1〉十三の少女」〔写真・エッセイ〕…58

- 
- ・岡崎清一郎「七拾歳の初夢」〔詩〕…60
  - ・高内壮介「岡崎清一郎の人と作品」〔鑑賞〕…65
  - ・新谷行「毘」〔詩〕…66
  - ・桜井滋人「新谷行の人と作品」〔鑑賞〕…68
  - ・滝口雅子「変身」〔詩〕…70
  - ・高良留美子「滝口雅子の人と作品」〔鑑賞〕…72
  - ・新藤涼子「水を掬むとき」〔詩〕…74
  - ・江森国友「新藤涼子の人と作品」〔鑑賞〕…76

- ・大森久礼「春」〔詩、新人詩入選作〕…78
- ・財部鳥子「投稿ということ—大森久礼の「春」を選んで」〔選評〕…80
- ・中川タマキ「神さまの前では話せない」〔詩、新人詩入選作〕…82
- ・会田綱雄「〔神さまの前では話せない〕その他」〔選評〕…84
- ・W・C・ウィリアムス「雨」〔詩／鍵谷幸信訳・解説〕…86

---

□私の町

- ・八木善之介「根室」〔文・スケッチ〕…90

- 
- ・檜原祐「クロニクル・ギャラリー—下村画廊」〔紹介〕…91
  - ・草野心平「ハワイ通信」〔エッセイ・絵〕…92
  - ・嶋岡晨「日本の抒情詩〈3〉 象徴の森の若者たち」…94
  - ・金子光晴・田村隆一「文明はエロス」〔対談〕…98
  - ・原精一「不肖の子」〔画・エッセイ〕…108
  - ・日高てる「フィリップ・キングと国際鉄鋼彫刻シンポジウム」〔評論〕…110
  - ・内村剛介「アンチ・ユートピアの情念—あるソ連詩人の無常観」〔評論〕…112
  - ・「ローカル・トピックス」〔詩展・詩碑紹介〕…117
  - ・第一回新人詩入選発表表（財部鳥子・会

田綱雄選) …117

---

□おもしろい本

- ・無記名「西脇順三郎『壤歌』」〔書評〕  
……118
- 

・編集後記……122

●通巻第4号(第2巻第2号、1970年4月、  
定価300円)

編集人——緑川登

発行所——母岩社

表紙コラージュ——前川佳子

〔錯誤70—私と状況の距離の中で〕

- ・高橋安子「消えてゆく裸婦」〔画〕…7
- ・馬場彬「ニルヴァーナ」〔画・解説〕…  
8
- ・三好敏弘「ペーパーラブ(Yの字)」〔画〕  
…9
- ・ウィリアム・ブレイク「最後の審判」〔テ  
ンペラ画〕…10

□特集=想像力の根源<sup>ラジカル</sup>

- ・岡田隆彦「未知の全体を孕むちから」  
〔評論〕…13
- ・赤塚行雄「苦痛の想像力—赤瀬川源平  
の近作「干渉縞」」〔評論〕…27
- ・草野心平「もう一度ハワイを」〔画・文〕  
…36
- ・第二回新人詩入選発表(財部鳥子・会  
田綱雄選) …38
- ・編集者への声…39

・羽永光利「体制裏の芸術家〈1〉権威  
と風俗に埋没する日本のアングラ芸術」  
〔評論・写真〕…40

・会田綱雄「自己流謫ということ—高村  
光太郎ノート」〔評論〕…50

・伊藤信吉「旅の手帖〈2〉「カインの末  
裔の道」〔エッセイ・写真〕…58

---

・秋山清「収穫」〔詩〕…60

・村松武司「秋山清の人と作品—そのリ  
アリズム」〔鑑賞〕…62

・安水稔和「鳥を離れる(その3)」〔詩〕  
…64

・福井久子「安水稔和の人と作品—「鳥」  
について」〔鑑賞〕…66

・天沢退二郎「取経譚」〔詩〕…68

・江森国友「天沢退二郎の人と作品」〔鑑  
賞〕…70

・横川礼子「その日かしら」〔詩〕…72

・伊藤信吉「横川礼子の人と作品」〔鑑賞〕  
…74

---

・とはらこと「0の影響」〔詩、新人詩入  
選作〕…76

・日夏童路「冬の岬」〔詩、新人詩入選作〕  
…78

・財部鳥子「「0の影響」等を選んで」〔選  
評〕…80

・里信直枝「秋<sup>うた</sup>の詩」〔詩、新人詩入選作〕  
…82

・会田綱雄「秋<sup>うた</sup>の詩」他〔選評〕…84

---

・W・H・オーデン「無名市民」「ある専

雑誌『ピエロタ』総目次

- 制作者の墓碑銘」〔詩／訳・解説＝中桐雅夫〕…86
- ・山口義郎「猫」〔文・スケッチ〕…90
  - ・梶原祐「クロニクル・ギャラリー—サエグサ画廊」〔紹介〕…91
  - ・豊島弘尚「私の町／八戸」〔文・画〕…92
  - ・嶋岡晨「日本の抒情詩〈4〉「塵溜」から「自由」が生まれた」〔評論〕…94
  - ・村井志摩子・田村隆一「ブラハの女演劇魔—言語・演劇・人生」〔対談〕…98
  - ・虹好きイ「今日の視点—芸術ジャンルの溶解現象」〔評論〕…114

---

□おもしろい本

- ・無記名「須山計一『抵抗の画家』」〔書評〕…118

- 
- ・編集後記…122

●通巻第5号（第2巻第3号、1970年5月、定価300円）

編集人—緑川登

発行所—母岩社

表紙カラーズ—戸田正寿（撮影＝尾山敏明）

- ・石原和夫<sup>パタノスコープ</sup>「鏡の詩—万博への夢も空しく死んだ若い芸術家の遺作」〔造形／写真＝編集部〕…7
- ・アンドレ・ブルトン「ポエム・オブジェ」〔写真〕…

---

□特集＝シュールレアリスム

- ・鶴岡善久「不眠の夢—あるいは日本のシュールレアリスム」〔評論〕…12
- ・編集部「愛の思想・シュールレアリスム」〔評論〕…24
- 〔ピエロタ会見記 滝口修造の眼は何を見たか〕
- ・滝口修造「（どの花にも似ない混在した笑い）…」〔詩〕（「断片」、『瀧口修造の詩的実験1927～1937』思潮社より抄録）…27
- ・唐十郎「誰が為の化粧ぞ」〔評論／写真＝羽永光利〕…28
- ・京都芸大全闘連N「滝口修造を超えて」〔評論〕…34
- ・ヨシダ・ヨシエ「超現実的蛇足の弁」〔評論〕…36

- 
- ・草野心平「車窓から」〔エッセイ・画〕…40

- ・本郷隆「春日偶感（一）伊東静雄の教訓」〔評論〕…42

- ・玉置正敏「鼻の中の公害」〔文・スケッチ〕…48

- ・伊藤信吉「旅の手帖〈3〉「椰子の実」の海」〔エッセイ・写真〕…51

- 
- ・福井久子「裸形の容認」〔詩〕…52

- ・宮田恭子「福井久子の人と作品」〔鑑賞〕…54

- ・寺門仁「犬遊女」〔詩〕…56

- ・小松郁子「寺門仁の人と作品」〔鑑賞〕…

雑誌『ピエロタ』総目次

- …58
- ・新川和江「SNOW-TYRE 国道三十六号線」〔詩〕…60
  - ・安西均「新川和江の人と作品」〔鑑賞〕…62
  - ・高野喜久雄「あなたに」〔詩〕…64
  - ・花田英三「高野喜久雄の人と作品」〔鑑賞〕…66
  - ・猿田長春「沙漠の思想」〔詩〕…68
  - ・渡辺みえこ「猿田長春の人と作品—「自画像によく似た肖像画」…70
  - ・桜井滋人「ちりぬるを」〔詩〕…72
  - ・新谷行「桜井滋人の人と作品」〔鑑賞〕…76
  - ・知念栄喜「みやらび抄」〔詩、H氏賞作品〕…78
  - ・江森国友「知念栄喜の詩のために」〔鑑賞〕…84
- 
- ・アレクサンドル・ヤーシン「何がこわい」、ノヴェラ・マトヴェワ「手品師」(他)〔詩3篇、訳・解説=内村剛介〕…86
  - ・安岡明夫「母の日」〔画〕…90
  - ・橋原祐「クロニクル・ギャラリー—横浜画廊」〔紹介〕…91
  - ・山下菊二「私の町／阿波の辻」〔文・画〕…92
  - ・嶋岡晨「日本の抒情詩〈5〉耽美の季節」〔評論〕…94
  - ・羽永光利「体制裏の芸術家〈2〉死に至る舞踏を踊り続ける暗黒舞踏」〔評論・写真〕…98

- ・「編集者への声」…110
- ・第三回新人詩入選発表(選評=財部鳥子・会田綱雄)…113

---

□おもしろい本

- ・無記名「アンドレ・ブルトン集成1」〔書評〕…120

- 
- ・編集後記…122

●通巻第6号(第2巻第4号、1970年6月、定価300円)

編集人—緑川登

発行所—母岩社

表紙—沢田哲郎

- ・楠野祐治「EXPANDED ART」〔写真〕…7
- ・杉村篤「母性の解体目指すイラスト」〔画〕…10

---

□特集=構造主義—その思想と方法

- ・多田智満子「ヴェラスケスの鏡—ミシェル・フーコーの《ことばともの》」〔評論〕…13
- ・高内壮介「構造主義と変換の美学—パンセよ死ぬ」〔評論〕…20

- 
- ・花田英三「「荒地」の詩人たち—鮎川信夫を中心に」〔評論〕…34
  - ・本郷隆「春日偶感(二)抒情ということ」〔評論〕…43

雑誌『ピエロタ』総目次

□特集＝近代への造反

- ・楠野祐治「石井光孝と舞踏金房—エク  
スパンデッド・アート・フェスティバル」  
〔写真〕…49
- ・石川雅「自由な精神を吐く—近代芸術  
への根底的批判＝エクスパンデッド・  
アート・フェスティバル」〔評論〕…51
- ・ヨシダ・ヨシエ「闇・恐怖・怨恨〈肉  
体の奥地〉」〔評論〕…56

- 
- ・草野心平「釧路飛行場にて」〔エッセ  
イ・画〕…64
  - ・伊藤信吉「旅の手帖〈4〉博徒忠治の墓」  
〔エッセイ・写真〕…66

- 
- ・山本太郎「テロリストの指」〔詩〕…68
  - ・知念栄喜「山本太郎の人と作品—その  
はるかなる跳躍」〔鑑賞〕…72
  - ・会田千衣子「春の宵の海の……」〔詩〕  
…74
  - ・財部鳥子「会田千衣子の人と作品」〔鑑  
賞〕…76

- 
- ・守靖男「石畳」〔詩、入選作〕…78
  - ・川上二郎「掌の消息」〔詩、入選作〕…  
80
  - ・北条裕子「柘榴」〔詩、入選作〕…82

- 
- ・ジャン・ジュネ「死刑囚抄」〔詩／訳・  
解説＝一羽昌子〕…84
  - ・加治邦子「私の町／福岡」〔文・画〕…  
90
  - ・嶋岡晨「日本の抒情詩〈6〉暗い扉の彼

方へ」〔評論〕…92

- ・羽永光利「体制裏の芸術家〈3〉性のオ  
ブジェに人間文化の根源を探る」〔評  
論〕…96
- ・イヴェント・アポロ「今日の芸術—空  
飛ぶ芸術 メール・ハプニングにみる  
コミュニケーション」〔評論〕…107
- ・新人詩入選発表表(対談選評＝江森国友・  
財部鳥子)…110

□おもしろい本

- ・無記名「辻惟雄『奇想の系譜』」〔書評〕  
……118

---

・編集後記……122

●通巻第7号(第2巻第5号、1970年7月、  
定価150円)

編集人——緑川登

発行所——母岩社

□緊急特集＝表現行為の自主規制—ド  
キュメント・「こどもの国」現代美術野  
外フェスティバル

\*共同執筆協力者＝青山光祐 禱安紀子  
海老原璋光 大屋俊子 片桐充  
来馬道代 弘願学 佐藤真史 中山直  
樹 羽永光利 早川正洋 平賀正樹  
平本和博 藤田惇三 三輪春樹 ヨシ  
ダ・ヨシエ

- ・「はじめに」(ヨシダ・ヨシエ)……4
- ・「このレポートが書かれるまでの経緯」  
…7

雑誌『ピエロタ』総目次

- ・「実行委の成立から開催まで」…8
- ・「4月1日から5日までの記録」…11
- ・「その他の動き」…15
- ・「破壊撤去作品リスト」…17
- ・「4・24 シンポジウム〈1〉」…19
- ・「4・29 「こどもの国」抗議集会」…25
- ・「4・30 シンポジウム〈2〉」…26
- ・「5・5 「こどもの国」抗議集会」…27
- ・「5・6 シンポジウム〈3〉」…28
- ・「犯罪としての『表現の自由』」…36

- 
- ・「編集者への声」…43
  - ・鈴木はるみ「ムライキ」〔詩、入選作〕…44

- 
- ・編集後記…46

●通巻第8号（第2巻第6号、1970年8月、  
定価150円）

編集人——緑川登

発行所——母岩社

表紙——依田邦子

- ・「芸術70—NEW JAZZ NOW」〔紹介／  
写真＝楠野裕治〕…6

□特集＝地獄の季節

- ・塚本邦雄「昇地獄篇—王朝美学に関する一考察」〔評論〕…7
- ・宗左近クナトス エロス「死と生との幻覚芸術」〔評論〕…16

- 
- ・遠丸立「風の詩人の出発—吉本隆明の

- 「日時計篇」をめぐって」〔評論〕…20
- ・本郷隆「春日偶感（三）風景をめぐる  
随想」〔評論〕…31
- ・飯村隆彦「詩と映画と—私にとって詩  
とは何か」〔評論〕…38
- ・草野心平「はだか」〔エッセイ・画〕…  
44

- 
- ・加藤郁乎「投げざんげ」〔詩〕…46
  - ・藤富保男「加藤郁乎の人と作品」〔鑑賞〕  
…48
  - ・花井純一郎「世界」〔詩〕…50
  - ・安宅夏夫「花井純一郎の人と作品」〔鑑  
賞〕…52
  - ・佐々木幹郎「水あかりまで」〔詩〕……  
54
  - ・藤井貞和「佐々木幹郎の人と作品」〔鑑  
賞〕…56

- 
- ・日原正彦「尋ねる人」〔詩、新人詩入選  
作〕…58
  - ・柴田成人「地下鉄」〔詩、新人詩入選作〕  
…60

- 
- ・セオドー・レトキ「光の原」「骨髄」  
〔詩／訳・解説＝石田安広〕…62
  - ・嶋岡長「実験・発見・冒険〈1〉私は世  
界を尻の穴から見る」〔評論〕…68
  - ・伊藤信吉「旅の手帖〈5〉積乱雲の赤城」  
〔エッセイ・写真〕…72
  - ・河野芳夫「物質は発言する」〔文・ス  
ケッチ〕…74
  - ・江口幹セックス「性にアナーキーであること—

雑誌『ピエロタ』総目次

- ダニエル・ゲランの思想を中心に」〔評論／画＝アンドレ・マッソン〕…76
- ・平間文子「私の町／旭川」〔文・画〕…84
- ・「第五回新人詩佳作発表」（選評＝財部鳥子・江森国友）…87
- ・赤塚行雄「未分化な体験—第十回「日本国際美術展」への懐疑」〔評論〕…96
- ・Y・A「今日の視点—夜の虹の詩的画家・谷川晃一」〔評論〕…98

---

・編集後記…102

●通巻第9号（第2巻第7号、1970年9月、定価250円）

編集人——緑川登

発行所——母岩社

表紙——サトウ・サナエ

□特集＝悲惨と栄光のシュルレアリスト  
富士原清一詩集

- ・滝口修造「富士原清一—一地上のきみの守護天使より」〔エッセイ〕…8
- ・富士原清一「富士原清一遺稿集〈1927～1934〉」〔詩16篇〕…10
- ・鶴岡善久「いま開いた鏡の底の…—富士原清一試論」〔評論〕…44
- ・富士原清一「ノオト1 作品発表誌一覽」「ノオト2 おぼえがき」…54

- 
- ・長光太「死の詩人・原民喜—三六五階段を踏む「死」の内景」…55

- ・嶋岡展「実験・発見・冒険〈2〉半世紀先を行く詩人たち」〔評論〕…76

- 
- ・安宅夏夫「Mammary Cancer」〔詩〕…62

- ・石垣りん「へんな地平線」〔詩〕…66

- ・及川均「濃霧夢幻」〔詩〕…68

- ・渋谷孝輔「まともな歌」〔詩〕…70

- ・菅原克己「蕨のからんだ家で」〔詩〕…72

- ・日高てる「包む」〔詩3篇〕…74

- ・梅田智江「奴」〔詩〕…82

- ・西野勉「ラ式蹴球試論」〔詩〕…84

□人と作品

- ・高橋秀一郎「安宅夏夫」〔鑑賞〕…91

- ・小出真理「菅原克己」〔鑑賞〕…92

- 
- ・村上善男「私の町／盛岡」〔文・画〕…80

- ・新人詩入選発表（対談選評＝江森国友・財部鳥子）…94

---

・編集後記…102

●通巻第10号（第2巻第8号、1970年11月、定価250円）

編集人——緑川登

発行所——母岩社

表紙——千先泰子

□特集＝反近代の構造

- ・市川雅「反近代—前近代—超近代—近代的思考の内実をさぐろう」〔評論／写

雑誌『ピエロタ』総目次

- 真=羽永光利] …6
- ・花井純一郎「巫女の世界—近代の言語をさぐる覚えがき」〔評論〕 …13
- ・福地康之「反世界的情熱—塔晶夫頌」〔評論〕 …26
- 
- ・高内壮介<sup>ベルツナ</sup>「面の思想、或いは恐怖について—岡崎清一郎における認識と知恵」〔評論〕 ……34
- ・草野心平「バスの窓から」〔エッセイ・画〕 ……44
- 
- ・澤村光博「日々の占い」〔詩〕 ……46
- ・江森国友「地にあって」〔詩〕 ……48
- ・三井葉子「肉」〔詩〕 ……54
- ・小柳玲子「みもぎ荘」〔詩〕 ……56
- ・吉沢脩「光の森」〔詩〕 ……58
- ・安宅啓子「ある誕生景」〔詩〕 ……60
- ・宮岡頌子「賽の河原」〔詩〕 ……62
- ・山田達雄「公園」〔詩〕 ……64
- ・須田浅一郎「「わたしがします」」「エピソード—「生きるということ」(母岩社刊)のための」〔詩〕 ……66
- 
- ・嶋岡晨「実験・発見・冒険(3) 男根体直立筆記具の行く方」〔評論〕 ……74
- 
- ・北条裕子「痛み」〔詩、新人詩入選作〕 ……78
- ・稲垣とし子「ははおや」〔詩、新人詩入選作〕 ……80
- 
- ・蜜波羅伸三「私の町／松本」〔文・画〕

……82

□人と作品

- ・倉橋健一「三井葉子」〔鑑賞〕 ……84
- ・石原吉郎「小柳玲子」〔鑑賞〕 ……85
- ・福多久「吉沢脩」〔鑑賞〕 ……86
- ・野海青児「安宅啓子」〔鑑賞〕 ……88
- ・金石稔「宮岡頌子」〔鑑賞〕 ……89
- ・山田賢二「山田達雄」〔鑑賞〕 ……90
- ・小沢俊郎「須田浅一郎」〔鑑賞〕 ……91

・新人詩入選発表(選評=江森国友) ……95

□おもしろい本

- ・刀根「飯村隆彦『芸術と非芸術の間』」〔書評〕 ……98
- 
- ・編集後記……102

●通巻第11号(1971年4月、定価280円)  
発行所——母岩社  
表紙エッチング——福地靖

・楠野裕治「前衛71—前衛舞踏」〔写真〕 ……6

- ・草野心平「死」「夜」〔詩〕 ……8
- ・西脇順三郎「舌代」〔詩〕 ……12
- ・村野四郎「ゴムの木の下」〔詩〕 ……14

□特集=黒いユーモア

・安宅夏夫「現代詩におけるブラックユー

雑誌『ピエロタ』総目次

モア―吉岡実・会田綱雄の作品などについて〔評論〕……16

・伊東守男「アンチヒューマニズムの黒花―ブラック・ユーモア随筆」〔評論〕……22

・星野徹「有間皇子」〔詩〕……28

・徳永民平「葬送の唄」〔詩〕……30

・御沢昌弘「Entre l'amour et la mort」〔詩〕……32

・柰田瑛二「はてしない波の上で」〔詩〕……34

・黒部節子「透明な家」〔詩〕……36

・鍵谷幸信「ウィリアムズ・35の断章」……38

・嶋岡晨「実験・発見・冒険〈4〉非詩の宿業」〔評論〕……47

・中武久「私の町／瀬戸」〔文・画〕……52

・永島卓「わが驟雨」〔詩〕……54

・横川礼子「盲のハト」〔詩〕……56

・福多久「ゆうらしあ序論」〔詩〕……58

・石原吉郎「橋」〔詩〕……60

□特集＝惰眠の空に拡がる焼身の炎

・斎田朋雄「死を賭けた17歳の告発」〔エッセイ〕……61

・岡田信次「わが内なる矢島雅彦―遺稿集『若さをみんなで』が意味するもの」〔エッセイ〕……63

・矢島雅彦「矢島雅彦の遺書・遺稿集」

〔作文等〕……76

・A「今日の視点―反響がえす願望 小林正治の作品」〔評論〕……77

・西野勉「紅殺血走道中」、美栄関「夏ぼくは石を投げる」〔詩〕……80

□人と作品

・中崎一夫「星野徹」〔鑑賞〕……82

・会田綱雄「徳永民平」〔鑑賞〕……83

・吉岡弘昭「御沢昌弘」〔鑑賞〕……84

・黒田三郎「柰田瑛二」〔鑑賞〕……85

・中野嘉一「黒部節子」〔鑑賞〕……86

・花井純一郎「福多久」〔鑑賞〕……88

・赤塚行雄「美術への招待」〔個展レビュー〕……90

□読書案内

・山中散生「富士原清一詩集」〔書評〕……94

・宇佐美英治「本郷隆著『石果集』」〔書評〕……95

・松永伍一「『現代風刺詩集』」〔書評〕……96

・村田正夫「須田浅一郎詩集『生きるということ』」〔書評〕……97

□おもしろい本

・無記名「工藤直子・詩 梶山俊夫・画『いとしのパパ象は空を飛んだか』」〔書評〕……93

雑誌『ピエロタ』総目次

- ・「新人詩入選発表」(選評=財部鳥子)  
…100
- ・社告・編集後記…102

●通巻第12号(71秋、1971年9月、定価  
360円)

- ・編集人・発行人——緑川登
- ・発行所——母岩社
- ・渡辺広士「現代詩の源流 ロートレア  
モンシー〈文学のギブス〉破壊を目指す  
明晰な意識」〔評論〕…8

□特集=石川啄木の詩と思想

- ・秋山清・伊藤信吉「対談Ⅰ 啄木文学  
の軌跡を探る」〔対談〕…18
- ・福島章「啄木の精神病理1 知性・退  
行・創造」〔評論〕…29
- ・佐佐木幸綱「啄木短歌の方法試論」〔評  
論〕…38
- ・しまね・きよし「自我への凝結と状況  
への飛翔—思想家としての石川啄木」  
〔評論〕…44
- ・金石稔・熊倉正雄「対談Ⅱ 巨人願望  
への栄光と悲惨—白昼、酔いにまかせ  
て啄木を瞑す」〔対談〕…50
- ・及川均「「はてしなき議論の後」につい  
て」〔校訂〕…59
- ・城侑「啄木の眼、が現代に教えるもの」  
〔評論〕…66
- ・ヴェラー・マルコワ「わが石川啄木—  
ロシア語訳啄木歌集〈ソ連文学出版所  
六六年刊〉への序より」〔評論/訳=岡

- 林菜萸) …71
- ・草鹿外吉「啄木とロシア文学」〔評論〕  
…78
- ・岩城之徳「啄木六十回忌に寄せて」〔評  
論、東京新聞より転載〕…83
- ・藤岡武雄「啄木研究の総括と展望」〔研  
究動向〕…84
- ・岩城之徳編「石川啄木年譜」…88
- ・岩城之徳編「啄木・参考文献」〔文献リ  
スト〕…91
- ・無記名「啄木関係図書」〔紹介〕…101

- 
- ・阿久根靖夫「剥製の冬」〔詩〕…102
  - ・山村信男「原爆資料館にて」〔詩〕…  
104
  - ・伊藤聚「さけめ」〔詩〕…106

- 
- ・嶋岡晨「実験・発見・冒険(5) 絶望的  
希求と土俗的反逆」〔評論〕…108
  - ・石川逸子「日常」〔詩〕…112
  - ・赤塚行雄「美術への招待 東京—三月  
から五月の美術」〔レビュー〕…116

□読書案内

- ・芝山幹郎「江森国友『宝篋と花讃』—  
癒えに向かう困難なバランス」〔書評〕  
…120
- ・ワシオ・トシヒコ「金子光晴詩集『桜  
桃梅李』—大山椒魚の大ためいき」〔書  
評〕…121
- ・知念栄喜「新谷行詩集『シャクシャイ  
ンの歌』—異神の祭り」〔書評〕…122
- ・清水哲男「佃学詩集『不眠の草稿』—

雑誌『ピエロタ』総目次

美しい錯乱の世界」〔書評〕…123

---

・「新人詩」(選=江森国友)…125

---

□おもしろい本

・無記名「『馬淵美意子のすべて』」〔書評〕  
…130

---

・編集始末記…134

●通巻第13号(71冬、1971年12月、定価300円)

・編集・発行人——緑川登  
・発行所——母岩社  
・表紙イラスト——福地靖

□特集=吉本隆明の文学と思想の論理

・粟津則雄・白川正芳「固有時の詩人—  
吉本隆明の詩的世界を照射する」〔対  
談〕…8  
・菅孝行「吉本隆明覚書—共同性の原基  
形態をめぐる」〔評論〕…22  
・岡庭昇「《掟》と《追放》—吉本隆明の  
《共同体》・序説」〔評論〕…29  
・小川和佑「吉本隆明の抒情的原質—立  
原道造の詩との和音を探る」〔評論〕…  
36  
・河野信子「『共同幻想論』の世界」…45  
・花井純一郎「巨匠か水仙か—吉本隆明  
の表現論をよぎる断片的考察」〔評論〕  
…54  
・高内壮介「思想の汗—「詩と科学との  
問題」と吉本思想の創出過程」〔評論〕

…66

・延原時行「「関係の絶対性」とは何か—  
『マチウ書試論』からの出発」〔評論〕  
…78

・白川正芳編「吉本隆明年譜」…92

・無記名「新刊紹介 吉本隆明著『心的  
現象論序説』」〔書評〕…101

---

・芝山幹郎「人間の水」〔詩〕…102

・佃学「時の懸崖の悲しみの叛乱」〔詩〕  
…107

---

□読書案内

・橋本真理「胎内宇宙のあえかな経巻—  
金石稔詩篇集『天獄』」〔書評〕…110  
・ワシオ・トシヒコ「変幻自在の詩人へ  
の警鐘—村田正夫著『戦争／詩／批評』  
」〔書評〕…111

---

・「新人詩」(選=編集部)…112

---

□おもしろい本

・刀根「F・サガン『毒物』(朝吹登美子  
訳／B・ビュッフエ画)」〔書評〕…114

---

・編集後記…118

●通巻第14号(72冬、1972年3月、定価  
300円)

・編集・発行人——緑川登

・発行所——母岩社

・表紙イラスト——福地靖

・カット——南美穂子・高橋安子

雑誌『ピエロタ』総目次

□特集=北一輝の革命思想と浪漫的軌跡

- ・松本健一「北一輝の浪漫性—恋愛と革命について」〔評論〕…8
- ・松浦玲「『明治大帝ノ革命』と北一輝の革命」〔評論〕…18
- ・長谷川義記「東洋的共和政と北一輝の愛国的土着思想」〔評論〕…28
- ・内村剛介・桶谷秀昭「日本近代の虚妄性—北一輝の近代への叛逆とその思想の内質」〔対談〕…36
- ・秋山清「北一輝を考える」〔評論〕…52
- ・松本健一・半沢弘「浪漫的革命家・北一輝—天皇絶対制下の革命思想とその原核」〔対談〕…56
- ・松本健一編「北一輝・年譜」…75

- 
- ・阿久根靖夫「繩 縄」〔詩〕…80
  - ・木村昌博「溶解 について 二三の覚え書き」〔詩〕…84
  - ・安藤典明「声の意志」〔詩〕…90

- 
- ・高内壮介「連載I 科学と人間とのドラマ 序—原初の闇の形化へ」〔評論〕…92

- 
- ・山田今次「技師」〔詩〕…99
  - ・江森国友「慰めるもの」〔詩〕…100
  - ・安宅夏夫「聖なる歌」〔短歌〕…104
  - ・佃学「重鬱な構図」〔詩〕…106

□読書案内

- ・三好豊一郎「鮎川信夫編『森川義信詩集』」〔書評〕…108

- ・安宅夏夫「花井純一郎詩歌集『祝祭空間』」〔書評〕…109

- ・伊藤草雄「財部鳥子詩集『愛語』」〔書評〕…111

- ・杉本春生「佐藤房儀詩集『沈黙の背後』」〔書評〕…113

- ・白川正芳「菅孝行『狂騷の論理』」〔書評〕…114

□おもしろい本

- ・無記名「米村敏人『鶏劇』」〔書評〕…116

- 
- ・編集後記…118

●通巻第15号（72夏、1972年6月、定価270円）

- ・編集・発行人——緑川登
- ・発行所——母岩社
- ・表紙イラスト——高橋安子
- ・カット——橋本真理

□特集=北村透谷の文学と思想の挫折

- ・北川透「〈他界〉とその根—北村透谷についての」〔評論〕…8

- ・澤村光博「北村透谷—そのキリスト教の変質」〔評論〕…20

- ・杉本春生「<sup>アニメ</sup>『<sup>アニメ</sup>俠』と〈純潔〉に敗れる透谷—<sup>フィクション</sup>虚構としての〈<sup>ネーチュア</sup>自然〉の意識」〔評論〕…30

- ・桶谷秀昭「北村透谷論—情況の奈落」〔評論、『近代の奈落』（国文社）より再録〕…44

- ・平岡敏夫「透谷の恋愛と文学—

雑誌『ピエロタ』総目次

・ `Jungfräulichkeit、= `Chastity、」〔評論〕…60

・ 編集部編「北村透谷・年譜」…71

---

・ 山本哲也「黙示」〔詩〕…76

・ 財部鳥子「明晰でない土地」〔詩〕…78

---

・ 松本健一「連載Ⅰ 非在のユートピア—孤島 島を索める島国びと」〔評論〕…80

・ 高内壮介「連載Ⅱ 科学と人間とのドラマ 近代科学の成立」〔評論〕…89

---

□読書案内

・ 判沢弘「松本健一『北一輝論』—思想史学界近來の収獲」〔書評〕…102

・ 内村剛介「河野信子『女の論理序説』—破滅に抗うのは女性である」〔書評〕…104

・ 澤村光博「北条裕子詩集『形象』」…106

・ 星野徹「山口ひとよ詩集『薔薇賛』」…107

---

・ 「編集室の窓」…108

---

●通巻16号（72／10、1972年10月、定価300円）

・ 編集・発行人——緑川登

・ 発行所——母岩社

・ 表紙イラスト——高橋安子

□特集＝柳田国男の民俗思想とその位相

・ 橋川文三「北一輝と柳田国男」〔評論、『思想の歴史12』（平凡社）所収〕…8

・ 後藤総一郎「橋川文三「北一輝と柳田国男」・解説—思想史における柳田国男への視角」〔評論〕…14

・ 谷川健一「柳田国男の「序文」」〔評論〕…16

・ 藤枝元「〈幻の国家〉をめぐる—柳田国男試論」…25

・ 後藤総一郎「柳田学と転向」〔評論〕…34

・ 花井純一郎「日本の山人の歌による交響曲—柳田国男の思想への愚注」〔評論〕…44

・ 田中基「国内亡命族虚報—霊媒の学・柳田国男の自己と国家発生との解体」〔評論〕…56

・ 「柳田国男・年譜」…63

---

・ 松本健一「連載Ⅱ 非在のユートピア—孤島 近代の挫折」〔評論〕…74

---

・ 仲程昌徳「百合の季節—六月二十三日忌・N氏へ」〔詩〕…82

・ 松岡修二「転生」〔詩〕…84

---

・ 河野信子「連載Ⅰ『言語にとって美とはなにか』の構造（上）」〔評論〕…89

・ 高内壮介「連載Ⅲ 科学と人間とのドラマ 神秘主義と近代科学」〔評論〕…102

---

雑誌『ピエロタ』総目次

□読書案内

- ・松本健一「村上一郎『草莽論』—「草莽崛起」の神髄を解明」〔書評〕……114
- ・山中智恵子「阿久根靖夫詩集『夢かぞへ』—風湧沓たり」〔書評〕……116

---

・「編集室の窓」……118

●通巻第17号（72／12、1972年12月、定価400円）

- ・編集・発行人——緑川登
- ・発行所——母岩社
- ・表紙イラスト——高橋安子

□特集＝ドストエフスキーの文学と思想・神と詩と革命と

- ・高尾利数「ドストエフスキーの宗教性—イワン・カラマーゾフをめぐる」〔評論〕…9
- ・秋山駿・内村剛介・菊池昌典・松本健一「日本人にとってドストエフスキーとはなにか」〔座談会〕…24
- ・飯島宗享「近代の超克と地下生活者—滝沢克己著『ドストエフスキーと現代』を機縁に」〔評論〕…52
- ・工藤正広「『白痴』の系譜試論—「白痴」から「ドクトル・ジヴァゴ」のために」〔評論〕…61
- ・木下豊房「ソ連における研究・批評の変遷—三〇年代以降～七一年（生誕百五十周年）まで」〔評論〕…68
- ・清水正「連載Ⅰ ドストエフスキー体

験記述 ドストエフスキー—そのデ・オニユソス的世界」〔評論〕…84

- ・近田友一編「ドストエフスキー・年譜」…118

---

・河野信子「連載Ⅱ 吉本隆明論『言語にとって美とはなにか』の構造（中）」〔評論〕…132

- ・高内壮介「連載Ⅳ 科学と人間とのドラマ 伝承と科学—〈遠野物語〉ザシキワラシの唄」〔評論〕…144

---

□読書案内

- ・高橋徹「内村剛介『流亡と自存』—メビウスの輪の連鎖」〔書評〕…152
- ・栗原泉「平賀源内『物累品隣』（生活の古典双書2）—幕藩制解体過程の科学思想」〔書評〕…154
- ・安地美棹「末次弘『行為と思索』—〈負い目〉は失語となって」〔書評〕…158

---

・「編集室の窓」…159

●通巻18号（73／2、1973年2月、380円）

- ・編集・発行人——緑川登
- ・発行所——母岩社
- ・表紙イラスト——高橋安子

□特集＝日本革命者の原像・吉田松陰

- ・鹿野政直・後藤総一郎「吉田松陰の思想的過程」〔対談〕…8
- ・網沢満昭「吉田松陰と宇都宮黙霖—志

雑誌『ピエロタ』総目次

- 士の心情倫理と思想的屈折」〔評論〕  
…23
- ・脇英夫「吉田松陰の虚像と実像」〔評論〕 …32
- ・池田論「革命家・吉田松陰の思想と実践—伝統的革命思想の創出」〔評論〕 …42
- ・阿久根靖夫「連載Ⅰ 慟哭無盡—松陰詩瞥見（『長崎紀行』迄）〔評論〕 …52
- ・脇英夫「萩の乱と松蔭一族」〔資料〕 …62
- ・栗原泉「山口県教育会編『吉田松陰全集』第七巻・第三巻—「恋闕」の情念の突出」〔文献紹介〕 …64
- ・編集部編「吉田松陰・年譜」…66

- 
- ・佃学「存亡」〔詩〕 …71
- ・北川透「棺の中で」〔詩〕 …74

- 
- ・河野信子「連載Ⅲ 吉本隆明論『言語にとって美とはなにか』の構造（下）」〔評論〕 …76
- ・竹内好・内村剛介「連載対談Ⅰ 文学者と裏切り」〔対談〕 …88
- ・高内壮介「連載Ⅴ 科学と人間とのドラマ 現代物理学の詩」〔評論〕 …105
- ・清水正「連載Ⅱ ドストエフスキー体験記述『貧しき人々』の多視点的考察」〔評論〕 …116

---

□読書案内

- ・岡田啓「『永島卓詩集』—メビウスの河の彼岸へ」〔書評〕 …130

- ・菅原孝雄「鷺巣繁男『呪法と変容』—幻化聖杯への道なぞる」〔書評〕 …132

- 
- ・矢島輝夫「幻日」〔小説〕 …134

- 
- ・「編集室の窓」 ……151
- ・「ピエロタ 総目次（七一年一二月～七二年一二月）」…152

●通巻第19号（73／4、1973年4月、400円）

- ・編集・発行人—緑川登
- ・発行所—母岩社
- ・表紙イラスト—高橋安子

□特集=日本浪漫派・イロニイの論理

- ・饗庭孝男「保田与重郎論—最後の人と終末の意識」〔評論〕 …8
- ・野島秀勝「イロニーの彼方—保田与重郎とドイツ・ロマン派」〔評論〕 …18
- ・三枝康高「保田与重郎と川端康成一浪漫の受難者の出会い」〔評論〕 …30
- ・伊谷隆一「〈過激ロマンチズム〉の終末と現在」〔評論〕 …39
- ・村上一郎「日本浪漫派覚え書」〔評論〕 …50
- ・松本健一「散華の美学—保田与重郎私見」〔評論〕 …58
- ・後藤総一郎「浪漫派少年の原図（上）—橋川文三・その『日本浪漫派批判序説』の源流」〔評論〕 …67
- ・鈴木和成「浪漫派的断想」〔評論〕 …77

雑誌『ピエロタ』総目次

- ・吉増剛造「木霊ノート」〔詩〕…82
- ・河野信子・内村剛介「『共同幻想論』の意味」〔連載対談〕…86
- ・滝村隆一「シリーズ・アジア主義思想の系譜1 北一輝〈支那政策〉の構想とその批判」〔評論〕…107
- ・網沢満昭「連載I 権藤成卿論」〔評論〕…118
- ・阿久根靖夫「連載II 慟哭無盡—松陰詩瞥見（安政元、二年）…128
- ・高内壮介「連載IV 科学と人間のドラマ 量子力学のディアログ」〔評論〕…136
- ・清水正「連載III ドストエフスキー体験記述 『貧しき人々』の多視点的考察2」〔評論〕…155

□読書案内

- ・高柳重信「『現代短歌大系』第七巻—斬新かつ大胆な企画を支える強靱な精神」〔書評〕…164
- ・宮田登「プロップ著・大木伸一訳『民話の形態学』—活力あふれる昔話研究の方法論」〔書評〕…168
- ・川本三郎「松本健一『孤島コミュニケーション』—近代日本の孤島叛乱を検証」〔書評〕…170

・「編集部より」…172

●通巻第20号（73／6、1973年6月、400円）

・編集・発行人—緑川登

- ・発行所—母岩社
- ・表紙デザイン—市川英夫+箭内早苗
- ・写真協力—笠岡良臣

□特集=思想史としての島崎藤村の文学

- ・芳賀登・後藤総一郎「『夜明け前』と幕末草莽の国学思想」〔対談〕…8
- ・柴田道子「『破戒』をめぐる一欠落した被差別部落民の立場」〔評論〕…32
- ・河野信子「『春』—その近代恋愛思想の夜明けと挫折」〔評論〕…46
- ・岡田啓「〈家〉=〈性〉の永遠なる間—『家』における藤村の自己表出の根源をめぐる」〔評論〕…58

- 
- ・江森国友「行方知らずも」〔詩〕…68
  - ・山口ひとよ「妄想距離」〔詩〕…72
  - ・鈴木和成「水銀計」〔詩〕…76

- 
- ・木下長宏「シリーズ・アジア主義思想の系譜2 岡倉天心—幻視のアジア」〔評論〕…80

- ・網沢満昭「連載II 権藤成卿論」〔評論〕…90

- ・松本健一「連載I 憑かれた人びとの群—近代日本文学とドストエフスキー」〔評論〕…103

- ・阿久根靖夫「連載III 慟哭無盡—松陰詩瞥見（安政三～五年）〔評論〕…119

- ・尾崎秀樹・内村剛介「告発の思想と論理」〔連載対談〕…128

- ・高内壮介「連載I 湯川秀樹論 科学のタブーにわけいる猟人」〔評論〕…

144

- 
- ・伊藤幹治「後藤総一郎編『人と思想 柳田国男』—柳田学の全体像に迫る周到な編集」〔書評〕…154
  - ・田村雅之「内村剛介『愚図の系譜』—土足の思想」〔書評〕…156
  - ・川本三郎「大島渚『わが日本精神改造計画』—暗い食卓に象徴される日本の近代」〔書評〕…158

□読書案内

- ・内村剛介「外山滋比古『省略の文学』—日本文化論としてのメタ語学」〔書評〕…160

- 
- ・「特別資料 戦後の荒廃状況から生まれたガリ版詩誌—『花』」〔詩〕
  - ・上林猷夫「トーシャ詩誌『花』について」〔エッセイ〕…171

- 
- ・「編集部より」……176

●通巻第21号（夏季特大号・復刊1号、1974年6月、500円）

- ・編集——母岩社編集部
- ・発行人——北村博
- ・発行所——吟遊社

□特集＝北一輝・その人と思想

- ・いいだ・もも「北一輝と〈大衆の叛乱〉の時代—天皇制軍閥出陣血祭りの供物」〔評論〕…8
- ・木下長宏「詩人輝次郎の転位—北一輝

の方法序説」〔評論〕…20

- ・伊谷隆一「憤怒としての浪漫のゆくたて—北一輝ノオト」〔評論〕…33
- ・おはら・かずひさ「〈死ノ叫声〉の史的意義—朝日平吾と北一輝の出会い」〔評論〕…44
- ・近藤秀樹「青年北輝次郎の墮落」〔評論〕…55
- ・田村芳朗「北一輝と法華経」〔評論〕…67
- ・今井清一・松本健一「天皇制ファシズムと北一輝」〔対談〕…76
- ・松本健一編「北一輝・年譜」（14号より転載）…97

〔資料〕

- ・「北一輝語録」…102
- ・久野取「超国家主義の一原型—北一輝の場合」〔評論〕（『近代日本思想史講座』第六巻、筑摩書房より転載）…106
- ・橋川文三「北一輝の場合」〔評論〕（『現代日本思想大系31 超国家主義』筑摩書房より転載）…124
- ・後藤総一郎「個性的な北一輝発掘・照明作業」〔解題〕…131

- 
- ・緑川登「編集後記」…136

●通巻第22号（秋季・第2号、1974年10月、500円）

- ・編集・発行人——北村博
- ・表紙——さかいせつこ
- ・グラビア提供——大沢正道
- ・発行所——吟遊社

雑誌『ピエロタ』総目次

□総特集=人間・大杉栄の思想

- ・秋山清・大久保典夫・大沢正道「人間・大杉栄の全体像」〔座談会〕…2
- ・神近市子「人間的であることの闘い」〔インタビュー〕…21
- ・尾崎士郎「草蘆晩春」〔エッセイ〕(『流』創刊号、1949年6月より転載)…25
- ・大沢正道「眼の男・大杉栄」〔評論〕(『幸徳・大杉・石川—日本アナキストの原像』北日本出版より転載)…30
- ・森山重雄「大杉栄—エロスのアナキズム」〔評論〕(『文学』1974年6月より転載)…60
- ・荒畑寒村「大杉栄の思い出」〔エッセイ〕(『自由思想研究』創刊号、1960年7月より転載)…75
- ・杉浦勢之「甲羅無」〔コラム〕…83
- ・大島英三郎「黒畑から怒りをこめてアップール」〔評論〕…84
- ・秋山清「大杉栄—現代的評価」〔評論〕(『アートシアター』75号、1970年3月より転載)…89
- ・曾田秀彦「大杉栄とロマン・ロラン—「憎悪」と「調和」の美学」〔評論〕…95
- ・大沢正道編「大杉栄年譜」…118
- ・「大杉栄著書目録」…121

- 
- ・滝沢俣一「相沢尚夫他『日本無政府共産党』(海燕書房刊)—「無政府」と「党」との乖離の実践軌跡」〔書評〕…122
- 

・「編集後記」…124

●通巻第23号(終刊号、1975年4月、600円)

- ・編集・発行人——(記載なし)
- ・表紙——さかいせつこ
- ・発行所——吟遊社

□総特集=三島由紀夫の猛挙〔発言〕

- ・飯島耕一「序詩」(『川と河』『ユリイカ』青土社、1974・12より転載)〔詩〕…1
- ・大久保典夫「三島由紀夫における悲劇」〔評論〕…5
- ・石堂淑郎「三島由紀夫的《フォルム》」〔評論〕…11
- ・小川徹「三島由紀夫と花田清輝」〔評論〕…16
- ・丸山邦男「〈三島〉と内なる〈天皇〉—天皇は人となりたまひし…」〔評論〕…25

〔論文〕

- ・芦原修二「過ぎにし時に求めた幻影—三島由紀夫の肉体思想」〔評論〕…35
- ・山崎行太郎「存在論の人間—三島由紀夫私論」〔評論〕…41
- ・岳真也「甲羅無『仮面の告白』再読」〔評論〕…51

- 
- ・石川正夫「縮」〔詩〕…56
- 

〔再録〕

- ・三島由紀夫「檄」(転載)…57

雑誌『ピエロタ』総目次

- ・ 村上一郎「三島由紀夫の政治と行動」  
（『国文学』1970年5月臨増より転載）  
〔評論〕 …63
  - ・ 磯田光一「政治・エロス・美」〔評論〕  
（『殉教の美学』冬樹社より転載） …68
  - ・ 真継伸彦「文化防衛論批判」〔評論〕  
（『三島由紀夫の人間像』読売新聞社よ  
り転載） …75
  - ・ 三島由紀夫・大島渚（進行司会＝小川  
徹）「ファシストか革命家か」〔対談〕  
（『映画芸術』1968年1月より転載） …  
85
- 
- ・ 杉浦勢之「『偏執論』岡庭昇著―愚と痴」  
〔書評〕 …107